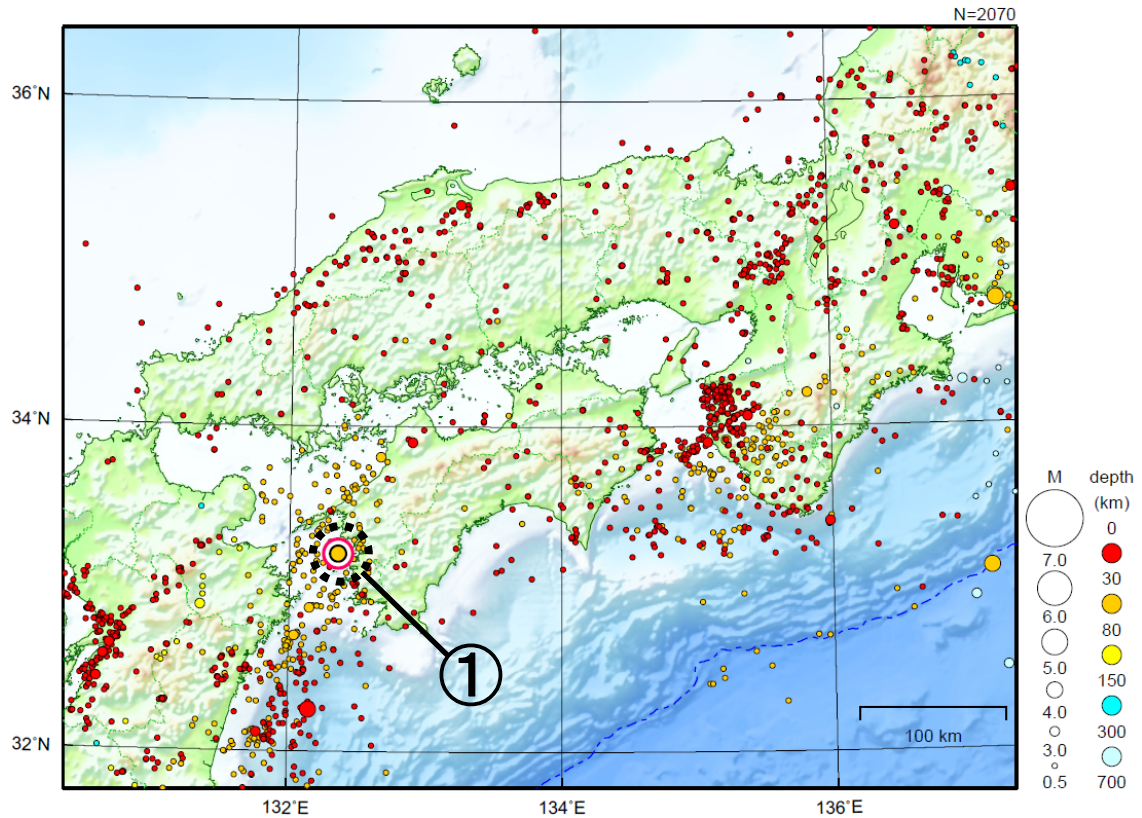


近畿・中国・四国地方

2024/06/01 00:00 ~ 2024/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6月1日に豊後水道で M4.5 の地震（最大震度4）が発生した。

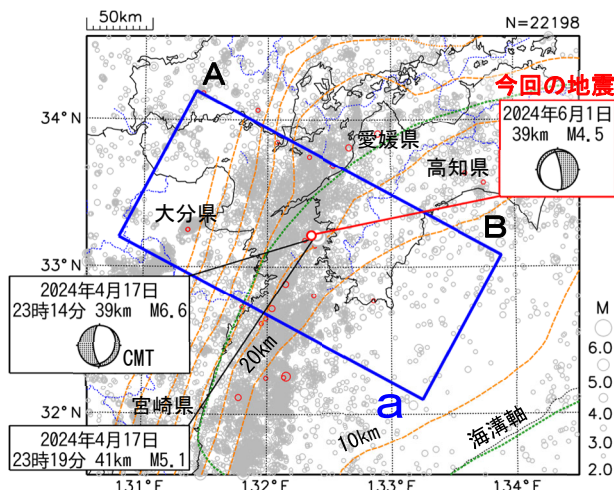
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

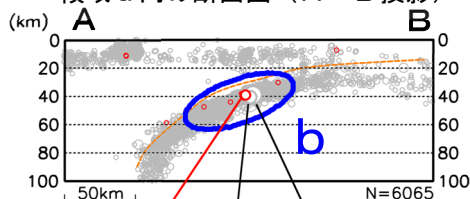
6月1日 豊後水道の地震（4月17日からの地震活動）

震央分布図

(1997年10月1日～2024年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2024年6月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)

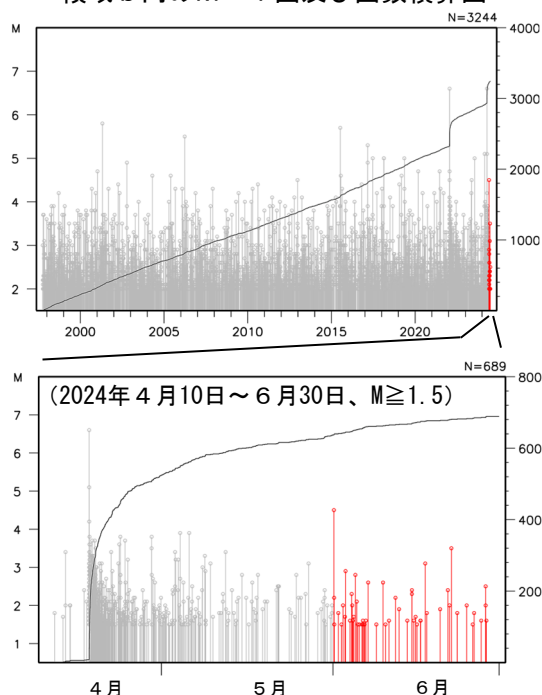


今回の地震

橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

領域b内のM-T図及び回数積算図



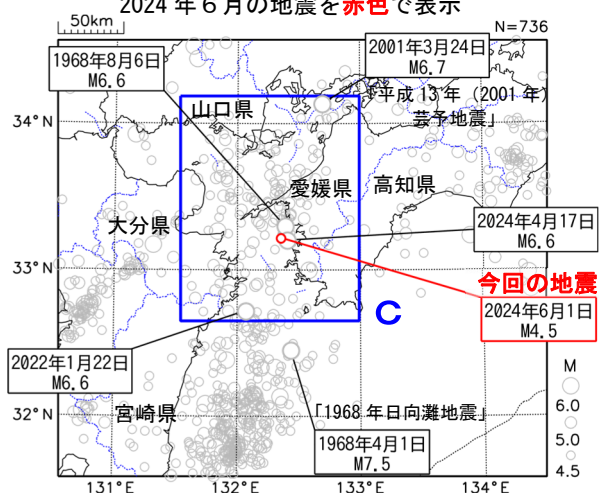
2024年6月1日04時02分に豊後水道の深さ39kmでM4.5の地震 (最大震度4) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型である。今回の地震の震源付近では、2024年4月17日のM6.6の地震 (最大震度6弱) の発生後、地震活動が活発となり、4月17日23時から6月30日24時までに震度1以上を観測した地震は82回 (震度6弱: 1回、震度4: 2回、震度3: 4回、震度2: 16回、震度1: 59回) 発生した。地震活動は次第に低下してきているものの、継続している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。

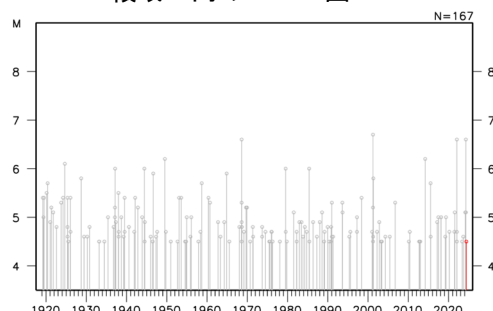
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。1968年8月6日に発生したM6.6の地震 (最大震度5) では、愛媛県を中心に負傷者22人、宇和島では重油タンクのパイプ破損により、重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。また、「平成13年 (2001年) 芸予地震」では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
2024年6月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図



気象庁作成